

2019年度長野県冬季一般検査研修会
尿沈渣 フォト問題 集計

全回答数：47 平均正解数：10.2問

問1 白血球（小突起型）

- ・正解数（正解率）：32（68.0%）
- ・多かった誤答：非糸球体型赤血球 糸球体型赤血球 尿細管上皮細胞
- ・コメント：尿の浸透圧の影響による生細胞の形態変化の1つで小突起を有する白血球で、S染色にあまり染まらないのも尿細管上皮細胞との鑑別ポイント

問2 マルベリー小体

- ・正解数（正解率）：22（46.8%）
- ・多かった誤答：赤血球 卵円形脂肪体
- ・コメント：Fabry病の患者尿でみられる渦巻き状の脂肪成分で、特徴的な形を覚えておくことが必要

問3 異型細胞（尿路上皮癌細胞）

- ・正解数（正解率）：28（59.6%）
- ・多かった誤答：尿路上皮細胞
- ・コメント：無染色での細胞質の薄さや透明感、S染色での核の腫大、核形の不整、核辺縁の不規則な肥厚などで良性の尿路上皮細胞と鑑別する組織型までしっかり判別できていた回答も多かった

問4 糸球体型赤血球

- ・正解数（正解率）：31（66.0%）
- ・多かった誤答：非糸球体型赤血球
- ・コメント：コブ状・ドーナツ状不均一、標的状などの糸球体型赤血球がみられるコブ状というだけでは非糸球体型赤血球であるが、内膜の形が不整であったり、標的状になっていれば糸球体型赤血球である

問5 尿細管上皮細胞（円形・類円形型）

- ・正解数（正解率）：11（23.4%）
- ・多かった誤答：異型細胞
- ・コメント：放射状の配列を示す集塊で、細胞質は薄く均質状で、細胞の大きさも大小不同がみられる再生性尿細管上皮細胞である
誤答として多かった異型細胞とは明らかな核の腫大や核形不整がないことで鑑別可能

問6 ビリルビン結晶

- ・正解数（正解率）：44（93.6%）
- ・多かった誤答：特に無し
- ・コメント：黄褐色の針状結晶、特徴的な形で類似成分もなく、正解率は高かった

問7 大食細胞

- ・正解数（正解率）：5（10.6%）
- ・多かった誤答：尿細管上皮細胞 白血球
- ・コメント：細胞質の辺縁構造が不明瞭、形は円形状の不定形、細胞質の表面構造は淡く綿菓子状または均質状で細胞の透過性が高いこと等がポイントで、脂肪顆粒も貪食されている
多くでている写真を選んだが、集塊状の部分は1個1個の判別が難しかった等、正解率も低めだったため、もっと良い写真を準備したい

問8 ろう様円柱（いくら状）

- ・正解数（正解率）：13（27.7%）
- ・多かった誤答：顆粒円柱 白血球円柱 上皮円柱
- ・コメント：普段よく見る厚ぼったく均質状のろう様円柱だけでなく、写真のような大小のいくら状を呈したろう様円柱もあることを覚えておくことが重要

問9 非糸球型体赤血球（膜部顆粒成分凝集状脱ヘモグロビン赤血球）

- ・正解数（正解率）：42（89.4%）
- ・多かった誤答：特に無し
- ・コメント：前立腺生検後や多発性のう胞腎患者尿でみられる
直前の講演でも取り上げられ、ヘモグロビンが残っている赤血球もみられるため、正解率は高かった

問10 リン酸カルシウム結晶

- ・正解数（正解率）：13（27.7%）
- ・多かった誤答：リン酸アンモニウムマグネシウム結晶 尿酸結晶
- ・コメント：無色～灰白色で、束菊花状や板状の結晶で塩酸や酢酸で溶解する
普段よく見る結晶ではないが、形と名称を覚えておくことが必要

問11 真菌（酵母様真菌）

- ・正解数（正解率）：18（38.3%）
- ・多かった誤答：非糸球体型赤血球
- ・コメント：楕円形で大小不同があり、出芽がみられることがポイント
赤血球の誤答が多く、上記などのポイントでしっかり鑑別してほしい

問 12 尿細管上皮細胞（角柱・角錐台型）

- ・正解数（正解率）：43（91.5%）
- ・多かった誤答：特に無し
- ・コメント：小型で形が角柱角錐、核は不明瞭で細胞質は均質にみえる 遠位尿細管由来の尿細管上皮細胞
直前の講演でも取り上げられたため、正解率は高かった

問 13 異型細胞（悪性リンパ腫細胞）

- ・正解数（正解率）：13（27.7%）
- ・多かった誤答：白血球 ウイルス感染細胞
- ・コメント：白血球よりはやや大型で、N/C 比高く、核が濃染し大小不同がみられる細胞が孤立散在性にみられるのがポイント
悪性リンパ腫細胞とは分からなくても異型細胞を疑う正答が多かった
今回は核異型が弱い症例の写真しか用意できなかったため、誤答で多い白血球（リンパ球）との鑑別が困難だったため、もっと分かりやすい写真に変更していく必要がある

問 14 核内封入体細胞

- ・正解数（正解率）：14（29.8%）
- ・多かった誤答：異型細胞 尿路上皮細胞
- ・コメント：無染色で核がスリガラス状で核内に明瞭な封入体がみられるのがポイント
細胞質の薄さや透明感はみられず、核の腫大や不整もみられないことから誤答の多かった異型細胞とは鑑別できる

問 15 異型細胞（直腸癌浸潤 低分化の腺癌細胞）

- ・正解数（正解率）：34（72.3%）
- ・多かった誤答：尿路上皮細胞
- ・コメント：シート状配列、核間距離や核配列の乱れ、核の腫大、N/C 比大、核形不整、核の位置は偏在、大型の明瞭な核小体がポイント
組織型は分からなくとも異型細胞を疑う解答が多く、正解率も高かった

問 16 白血球円柱

- ・正解数（正解率）：38（80.0%）
- ・多かった誤答：上皮円柱
- ・コメント：無染色でほぼ同じ大きさの円形で細胞質が細かい顆粒をもった均質状の白血球が封入されており、S 染色では分葉状の核が染め出されていることポイント
S 染色の写真の白血球の細胞質が崩れてしまっており、それが上皮円柱の誤答が多かった原因の可能性はある

問 17 異型細胞 (扁平上皮癌細胞、尿路上皮癌細胞)

- ・正解数 (正解率) : 15 (31.9%)
- ・多かった誤答 : 尿細管上皮細胞
- ・コメント : 表面構造は漆喰状および均質状、辺縁構造は角状明瞭、細胞の形は不整形および奇妙な形状、核の明らかな腫大は見られないが、核の大小不同や核形不整がみられる
核の明らかな腫大がみられないため、繊維型やへび型の尿細管上皮細胞とした誤答が多かったが、核の大小不同や核形不整がみられることから、異型細胞を疑うことができる

問 18 尿酸アンモニウム結晶

- ・正解数 (正解率) : 16 (34.0%)
- ・多かった誤答 : 尿酸結晶
- ・コメント : 褐色で棘を有する球状結晶で大小不同の棘が特徴の結晶
普段よく見る結晶ではないが、形と名称を覚えておくことが必要
特に酸性尿で尿酸アンモニウム結晶を認めた場合は酸性アンモニウム結晶疑いとして報告する必要がある

問 19 円柱上皮細胞 (集塊)

- ・正解数 (正解率) : 5 (10.6%)
- ・多かった誤答 : 異型細胞 尿路上皮細胞
- ・コメント : 尿路上皮細胞の集塊と比べると、集塊の辺縁の細胞質が均質で、S染色の染色性も弱いことが鑑別ポイントで、核の腫大や不整もみられないことから異型細胞との鑑別も可能
小型の細胞からなる集塊だが、写真では細胞のサイズ感が伝わらなかったため、正解率が低かったと考えられるため、細胞のサイズ感が伝わるように今後は見直しをしていく

問 20 糸球体型赤血球

- ・正解数 (正解率) : 45 (95.7%)
- ・多かった誤答 : 特に無し
- ・コメント : ドーナツ状不均一、標的などの糸球体型赤血球がみられる
問 4 に比べてコブ状のものが少ない点が異なるからか、正解率は非常に高かった